

～ 野鳥との知恵比べ ～

第2号でバケツ稲(年長)と夏野菜(年中)の栽培活動が始まったことを紹介していました。栽培している場所を観察すると、どちらもネットが張られていました。これは、収穫前に野鳥(カラスやスズメ)に食べられないようにするための対策とのことでした。まさに野鳥と先生方・園児との知恵比べの様相を呈してきました。稲や夏野菜を野鳥から守り、世話を続けている子どもたちには、是非、収穫の喜びを味わってほしいと願っています。



ところで、先日、職員室でカラスが話題となり、カラスに種類があることを話すと、職員は「黒いカラスは同じ種類と思っていた」と言っていました。

カラスには、うるさいとか、ゴミを荒らすとか一般的には悪いイメージがありますが、ちょっと観察してみませんか?日本には、越冬のため冬季に飛来するカラスを含めて、7種類のカラスがいるそうです。その中で、日常見かける黒いカラスは、ハシブトガラスとハシボソガラスの2種類です。見分け方(特徴)は、下表のとおりです。

幼稚園の近くでは、どちらのカラスを見かけるのでしょうか?カラスを見かけたら、お子様にカラスの雑学をネタに、自慢げに話してみてください。

	ハシブトガラス	ハシボソガラス
名前の由来	くちばしがふとい →はしふと	くちばしがほそい →はしほそ
額の特徴	出っ張っている	出っ張っていない
くちばし	太くて、くちばしが曲がる	細く、上くちばしが余り曲がらない
鳴き方	澄んだ声でカーカーと鳴く	濁った声でガーガーと鳴く
食性	肉食傾向 樹木の種子や肉類 ゴミを荒らす	植物食傾向 農作物や昆虫 農作物を食い荒らす
餌の食べ方	高いところに運んで食べる人が多い	地面で食べる人が多い
歩き方	両足でジャンプするように跳ねる	足を交互に動かして歩く
よく見られる場所	樹林内、ビル街、住宅地など立体構造がある場所	農耕地、河川敷など平面的で開けた場所

※子育て中のカラスは、苛立っていて威嚇してくることがあるので、要注意です。

～ダンゴムシの豆知識～

年少～年長に至る園児に人気のあるのがダンゴムシのようです。大事そうに握りしめた拳の中にダンゴムシが入っていることがよくあります。



また、百年の森や敷地内の散策に出かけて、容器にダンゴムシを入れて戻ってくる園児もたくさんいました。

ダンゴムシに興味を持った子どもに、ダンゴムシの豆知識(三択クイズ)を出されてはいかがでしょうか?そして、これもカラスの見分け方と同様に、回答を自慢げに話してみてください。

《問題》

Q1:ダンゴムシが丸くなるのは、どんなとき?

- ①敵に襲われた時
- ②寝る時
- ③幼稚園の坂道を転がり降りる時

Q2:ダンゴムシの足は何本あるのか?

- ①10本
- ②14本
- ③18本

Q3:ダンゴムシは何を食べているのか?

- ①石ころ
- ②落ち葉
- ③お団子

Q4:ダンゴムシの好きな場所は、どこか?

- ①明るく乾いた場所
- ②木の上
- ③落ち葉や石の下などの湿ったところ

Q5:ダンゴムシは、どんな生き物と近いのかなのか?

- ①カブトムシ
- ②ムカデ
- ③エビ

《答え》

A1:①敵に襲われたとき

A2:②14本 左右7対の14本。生まれた時は左右6対の12本ということです。右上のイラスト図は足の本数が足りませんよね。

A3:②落ち葉 落ち葉を分解する仕事の一段階を担っています。

A4:③落ち葉や石の下などの湿ったところ

飼育する時は、ダンゴムシが生息している環境と同じような環境をつくること。乾燥に弱いダンゴムシです。

A5:③エビ 節足動物甲殻類だそうです。昔、エビのように水中生活していたものが、上陸したもの。したがって、A4の湿ったところが好き(乾燥に弱い)に繋がります。

※さあ～何問、正解しましたか?お子さんと楽しんでください。